

## 【第3号議案】

### 令和8年度 事業計画（案）

#### I. (一社)福井県中小企業診断士協会 経営理念

「支援機関・行政と一体となり、中小企業の創造性・成長性・継続性を支援し、地域に貢献する」

#### II. 10年ビジョン 骨格

《全体スローガン》

「地方創生シンクタンク （行政・支援機関との協働関係確立）」

「“日本一の中小企業診断士”輩出 （語れる事例量産）」

「経営学部大学生認知度 100% （認知の裾野拡大）」

##### 1. 人材ビジョン

- (1) 会員数 100 人規模・多様なメンバー構成に
- (2) 稼げるプロコン
- (3) あるべき企業内診断士像の明確化
- (4) 教育システムの確立、実践

##### 2. 組織ビジョン

- (1) 法人会員等、環境に対応した会員制度新設
- (2) ターゲットを明確に意識した組織運営体制
- (3) 組織目標（参加率目標等）、財務目標の設定

##### 3. 認知度ビジョン

- (1) 認知度目標の設定  
経営者・支援機関等・行政・一般市民それぞれの認知度に目標設定
- (2) 活用度目標の設定（※活用度：中小企業診断士と仕事をしたこと経験がある割合）

##### 4. 事業ビジョン

- (1) 行政、民間企業からの業務受託の確立
- (2) シンポジウムの定例開催（発表の場の確立）
- (3) 研修⇒事例発表の流れの確立
- (4) O J T等教育システムの確立（品質の確立）
- (5) セミナー、WEB、パンフレット等広報ツールの充実

### Ⅲ. 重点目標（スローガン）

外部に対して “地方創生ナビゲーター、中小企業診断士”

1. 地域に積極的に働きかけを行い、地方創生を意識した活動を通じ県内各市町での地域活性化の計画づくり、計画実施をともに行うことで、貢献を目指す
2. 地方創生に資するため、行政、支援機関、金融機関、士業、大学との間の連携を高め、連携事業・共同事業に参加し、地域力強化の一端を担うことを目指す
3. 重点テーマを設定する  
“北陸新幹線を好機に、福井らしいまち、観光、企業づくりを仕掛けていく”

会員として “診断士の力を高め合い、さらに前向きに、確実に、活動する”

1. 中小企業診断士（協会）の知名度向上と地位向上を目指す
2. 会員のスキル向上を目指し、積極的な事業（チーム支援、会員研修等）を実施
3. 中小企業診断士協会の見える化を実践し、積極的なPR、情報発信、営業の実施
4. 会員同士のコミュニケーションを密に図り、信頼感、連帯感を醸成する
5. チームの力を結集し、総合力を発揮して課題の解決を目指す

### Ⅳ. 今年度の事業方針

世界情勢は更に不確実性を増し、ウクライナ情勢に加え、中東地域での緊張の高まりなど、地政学的リスクが国際社会に影響を及ぼしている。これに伴う原油価格や資源価格の変動は、エネルギーコストや物流コストの上昇を通じて日本経済にも影響を及ぼすことが懸念されている。

国内では、資材・原材料価格の高騰や人件費の上昇が企業経営に影響を与えているほか、少子高齢化の進行に伴う人材不足も一層深刻さを増しており、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にある。企業には、生産性の向上や事業構造の見直し、新たな付加価値の創出など、持続的成長に向けた取り組みが求められている。

一方、福井県においては北陸新幹線の開業から3年目を迎え、観光や交流人口の拡大などの効果が現れつつある。今後はその効果を県内各地域の産業振興や地域経済の活性化へと着実に波及させていくことが重要な課題となっている。

このような環境のもと、企業や地域が進むべき方向を示し、経営課題の解決を支援する経営の羅針盤として、我々中小企業診断士に求められる役割はますます大きくなっている。当協会としては、会員一人ひとりの専門性と実践力の向上を図るとともに、会員相互の連携を深め、組織としての総合力を高めていく。

また、行政機関、金融機関、支援機関等との連携を一層強化し、地域の中小企業に寄り添う伴走支援を通じて、当協会の専門性を発揮し、地域経済の発展に貢献したい。

本年度においては、会員のスキル向上と組織力の強化、ならびに外部との連携拡充を柱とした協会活動を推進し、中小企業の持続的発展と地域社会の活性化に寄与していくものとする。

## 1. 組織内部の枠組み強化 (One Team)

- (1) 会員診断士の診断・支援能力の向上
- (2) シンプルで有機的な組織づくりと会員の積極的参加、特に研究会活動の促進
- (3) 受託事業の拡充と見える化
- (4) コンプライアンスの遵守に向けた意識の向上

## 2. 外部との関係性強化

- (1) 支援機関・行政等との連携による事業者支援の事業化促進
- (2) 北陸新幹線開業効果の最大化に向けた支援機関・行政等との連携強化
- (3) 行政・金融機関・他士業団体・大学等とのコミュニケーション量の拡大

労働力人口の急速な減少を踏まえた生産性向上、事業承継、SDGs経営等々、中小企業診断士への支援ニーズは更に高まると思われる。協会として各機関・事業者からの依頼を待つだけではなく、これまでの支援実績や築いてきたネットワークをベースとして、提案、働きかけを行っていきたい。同時に、その提案の大きな軸となる支援事例について、会員一人ひとりの支援事例の取りまとめ、発表の場の充実も更に本格化させたい。

受託事業に関しては、引き続きコンプライアンス規定等の遵守の徹底を図り、受託事業の会員診断士への委託には、eラーニングの受講を最低条件とするなど厳格に対応を進める。チーム支援や支援への同行などを活用して、新入会員等のスキルアップ、当協会としての支援能力の底上げも図っていく。

## V. 具体的な事業活動

### 【事業推進部】

#### 1. 事業推進委員会（養成塾、実務従事研修を含む）

---

当委員会では、支援機関等との連携・交流を図り、受託事業の維持拡大と継続的な安定的な活動実施に向けて、広く営業活動を推進する。

同時に支援先の満足度向上と会員の診断スキルアップを目指して、コロナ禍で開催できなかった「事例検討会」を「事例検討発表会（仮称）」に改称し様々な事例の検討や発表の場に発展させ、年3回開催する。（4月・8月・12月開催予定）

中小企業の大きな課題の一つである「事業承継」支援に関しては、福井県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業引継ぎ後の組織統合（PMI）に向けた支援を展開する。これは、中小企業庁および中小企業診断士協会の連携に基づく国の施策の一環である。

また、コロナ禍の影響により業績が悪化し回復が遅れている企業の経営改善を、金融機関・支援機関と連携し積極的に取り組む。

また、中小企業診断士の試験合格を支援する養成塾を継続し県内診断士の増加による当協会の会員数増加に貢献する。講師には当協会の若手診断士を中心に置き、リーダーシップ等のスキルアップを図っていく。

<事業>

- ① 既存事業の継続的な受託
- ② 会員診断士のスキルアップを目的とした事例検討発表会
- ③ 経営相談会の実施
- ④ セミナーの受託（創業セミナー含む）
- ⑤ 養成塾の継続実施、1次模擬試験の実施 2次試験のフォロー
- ⑥ 資格更新のための実務従事ポイント獲得のための実務従事研修の実施

## 2. 資格更新委員会

---

当協会の会員を中心に、資格更新のための「理論政策更新研修」を開催する。

理論政策更新研修では、施策への理解浸透を図るとともに、中小企業支援に必要とされる知識取得、また革新的な企業経営に取り組む経営者を講師に招いての実務に役立つ研修を行う。

### <事業>

理論政策更新研修会の開催

日 時：令和8年9月5日（土）8：20～13：00

会 場：福井商工会議所ビル コンベンションホール

研修方法：令和7年度と同様に「会場参加」に加えて、「オンライン参加」も可とするハイブリッド方式で開催

※受講者には、会場に集合しての受講かオンライン配信による受講かのいずれかを選択して受講いただく。

## 3. 部会

---

事業、活動の領域を広げていくことを意識して、今年も継続して嶺南地域に当協会の拠点をつくり、その拠点ならではの活動を展開する。

### <事業>

嶺南部会 嶺南地域の会員および有資格者とともに、例会等を企画・実践していく。

### 【事業企画部】

## 4. 事業企画委員会

---

当協会および中小企業診断士の知名度向上をはかるため、多くの課題を抱える中小企業に対して、中小企業診断士としてどのような支援を行なっているか等をテーマに、11月4日の中小企業診断士の日に合わせてシンポジウムを開催する。

また、中小企業診断士をアピールするためのタイムリーなテーマによるセミナーを開催する。

### <事業>

- ① シンポジウムの開催

多くの課題を抱える中小企業に対してどのような支援が求められているのかをメインのテーマとして、支援機関や行政・企業経営者等を対象に、中小企業診断士シンポジウムを開催する。

日 程：令和8年11月

内 容：基調講演、事例発表等

## ② セミナーの開催

他団体等と協力し、中小企業が抱える課題をテーマとしたセミナーを開催する。

日 程：令和8年9月頃

内 容：各種制度説明等

## 【組織運営部】

### 5. 総務委員会（コンプライアンス委員会）

---

受託事業の案件進捗管理において、Kintone（キントーン）を本格的に導入する。まずは保証協会事業において導入することで、会員・事務局・保証協会の三方が一元的にデータ管理できる環境を構築する。これにより事務作業の効率化、知的資産の確実な蓄積、セキュリティの向上を図っていく。これを皮切りに会員にKintoneを公開し、コミュニティの場としても活用していきたい。

#### <事業>

- ① 事務局の運営
- ② 総会、理事会、新年会の運営
- ③ コンプライアンス委員会の運営
- ④ Kintone の運用

### 6. 広報委員会

---

当委員会では、年2回発行の「診断ふくい」およびホームページを中心に活動紹介を行うことで、当協会および中小企業診断士の認知度向上を図ります。今年度は、より一層協会活動の「見える化」を進め、新入会員増加、中小企業診断士の地位向上に貢献します。

#### <事業>

- ① ホームページを通じた情報発信、フェイスブックの運営
- ② 協会機関誌「診断ふくい」の発行（年2回）
- ③ 支援機関情報誌への広告協賛

### 7. 例会・会員研修委員会

---

昨年度は、北陸新幹線延伸から1年が経過した福井駅周辺および中心市街地の現状と今後の課題について、外部講師を招いた勉強会を開催しました。また、会員診断士による支

援事例発表を2回実施し、具体的な知見を共有しました。当委員会が会員同士の交流の場であることを踏まえ、例会後には懇親会を開催したことで、新入会員と既存会員、独立診断士と企業内診断士の間で積極的な交流を図ることができました。

今年度についても、昨今の中小企業を取り巻く課題に基づき、支援事例の発表会（3回程度）を実施します。併せて、例会後の懇親会も継続して開催する予定です。

## ＜研究会＞

会員の自発的な学びの場を提供する。若手を中心に新たなメンバーが増える中、昨今の社会・経済情勢を踏まえた新たなテーマ（DX・人手不足・円安・物価高・事業再構築など）の研究会発足を促進したい。

研究会に必要な会議費や調査費、研究会メンバー集めや成果物のPRなどの広報費等については、理事会決議により協会負担を検討する。

---

### (1) 観光産業化研究会

北陸新幹線の福井県内開業により福井県の観光や製品に関する報道等が増加することで、福井県の産業についても多く発信されているが、「福井の眼鏡」の知名度が大きく上昇する中で、他の伝統産業等についても産業の活性化に向けて、観光の切り口を加えながら、知名度向上に取り組む必要があると考える。

令和7年度は、「眼鏡の街として鯖江が全国的に知名度を高めた取り組みの検証（他の工芸産地へのモデルに）」をテーマに、眼鏡産業の取り組みを調査研究するとともに、伝統工芸や他産業の活性化に向けた提案に取り組むことで、県内自治体や団体の連携を通して地方創生における中小企業診断士の活躍の場を広げていくことを目指す。

#### ＜事業＞

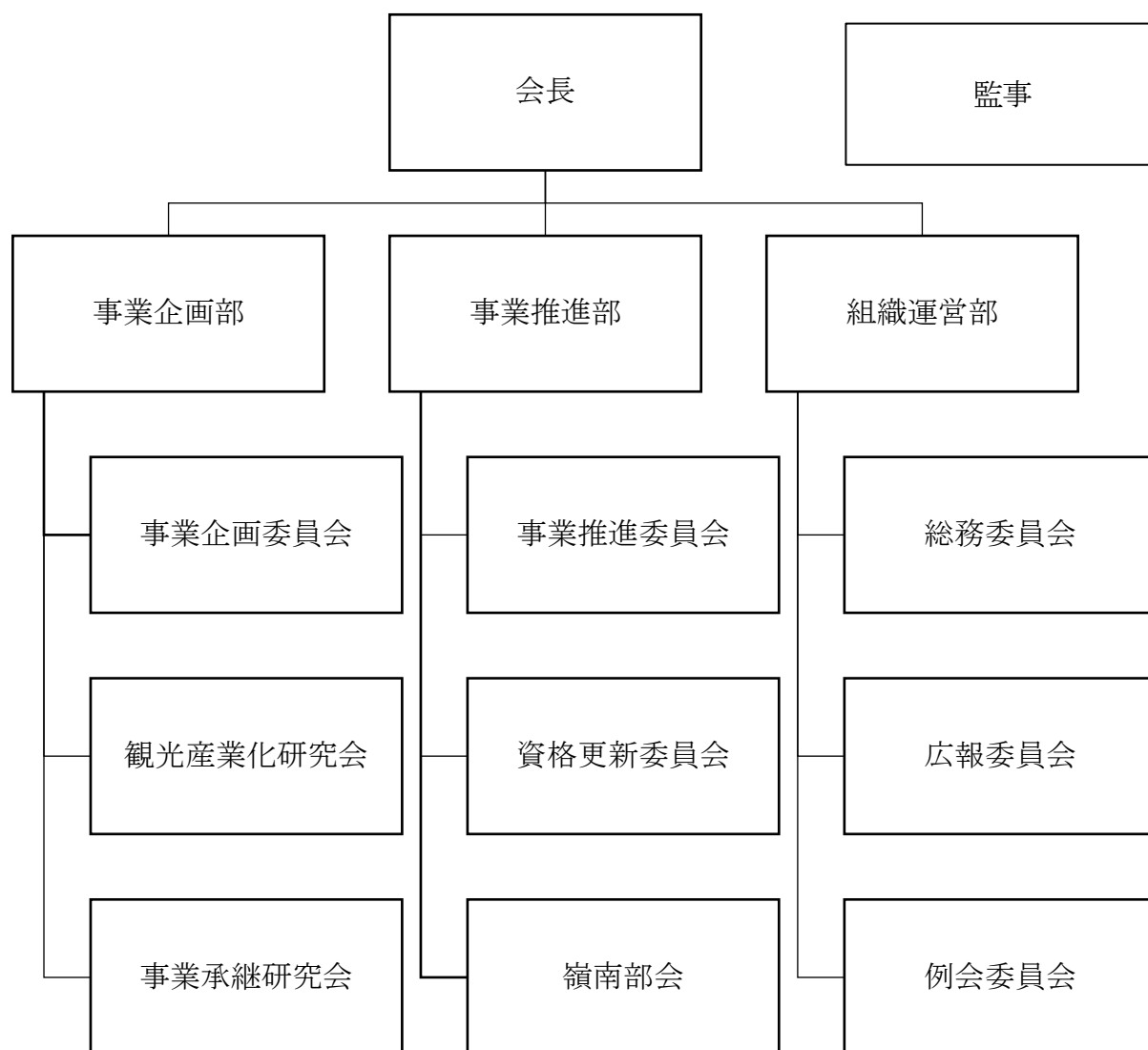
- ① 眼鏡の街として鯖江が全国的に知名度を高めた取り組みの検証（他の工芸産地へのモデルに）
- ② 大野・敦賀・あわら・小浜・坂井への提案について、各市担当部署と具体化を協議
- ③ 今後の観光活性化に向けた先進事例の収集

### (2) 事業承継研究会

平成30年度に立ち上げた事業承継研究会では、年数回の研究会を通じて事業承継・引継ぎに関する知識の充実を図るとともに、福井県事業承継・引継ぎ支援センターから受託する専門家派遣事業において専門家として派遣される中小企業診断士のスキルアップを行う。事業承継支援に関する中小企業診断士の役割は以下の通りである。

- ① 福井県事業承継・引継ぎ支援センターへの『理解促進』と『案件発掘』について
- ② 親族承継・従業員承継計画策定について
- ③ 後継者人材バンク（創業支援）への展開について
- ④ PMI：福井県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携支援について
- ⑤ 中小企業活性化支援協議会との連携について

## VI. 組織



## 【第4号議案】

令和8年度 正味財産増減予算書(案)  
令和8年4月1日から令和9年3月31日

(単位：円)

| 科 目         | R7年度予算     | 予算額        | うち<br>受託事業 | うち<br>一般会計 | 備 考               |
|-------------|------------|------------|------------|------------|-------------------|
| 会費収入        | 3,610,000  | 3,612,000  |            | 3,612,000  | @38,000×94名+新入会員  |
| 役務収入        | 6,500      | 6,500      |            | 6,500      | 診断士保険手数料          |
| 会員負担金       | 690,000    | 500,000    |            | 500,000    | 懇親会等の会費徴収分        |
| 実務従事研修収入    | 66,000     | 99,000     |            | 99,000     | 実務従事ポイント対策 参加費    |
| 受託事業収入      | 19,520,000 | 14,800,000 | 14,800,000 |            | 受託事業収益【別紙】        |
| 経常収益計       | 23,892,500 | 19,017,500 | 14,800,000 | 4,217,500  |                   |
| 連合会会費       | 930,000    | 940,000    |            | 940,000    | @10,000×94名       |
| 総会費         | 470,000    | 350,000    |            | 350,000    | 会場費、資料代、交流会       |
| 会議費         | 600,000    | 340,000    |            | 340,000    | 役員会・新年会           |
| 役員活動費       | 300,000    | 250,000    |            | 250,000    | 役員活動費             |
| 事業費         | 19,760,000 | 15,195,000 | 13,660,000 | 1,535,000  |                   |
| (内訳)        |            |            | 13,660,000 |            | 受託事業に係る報酬等【別紙】    |
|             | 100,000    |            |            | 50,000     | 委員会会議費            |
|             | 180,000    |            |            | 180,000    | 実務従事研修            |
|             | 15,000     |            |            | 15,000     | 嶺南部会              |
|             | 400,000    |            |            | 300,000    | 例会事業費             |
|             | 100,000    |            |            | 100,000    | 観光産業研究会           |
|             | 100,000    |            |            | 60,000     | 事業承継研究会           |
|             | 125,000    |            |            | 110,000    | システム管理費           |
|             | 60,000     |            |            | 60,000     | 広報掲載              |
|             | 10,000     |            |            | 0          | 会報発行              |
|             | 20,000     |            |            | 20,000     | パンフレット印刷費         |
|             | 200,000    |            |            | 240,000    | シンポジウム開催費         |
|             | 100,000    |            |            | 100,000    | 独自セミナー            |
|             | 200,000    |            |            | 300,000    | 出張旅費・ブロック会議       |
| 通信費         | 120,000    | 110,000    | 55,000     | 55,000     | 電話・郵送料            |
| 消耗品費        | 30,000     | 20,000     | 10,000     | 10,000     | 封筒印刷等             |
| 保険料         | 180,000    | 240,000    | 240,000    | 0          | 賠償責任保険料           |
| 渉外費         | 90,000     | 80,000     | 0          | 80,000     | 御香料等              |
| 租税公課        | 190,000    | 200,000    | 180,000    | 20,000     | 消費税等・登記費用・印紙      |
| 事務所費        | 120,000    | 120,000    | 60,000     | 60,000     | ふくい産業支援センター       |
| 事務管理費       | 840,000    | 720,000    | 480,000    | 240,000    | 事務局手当             |
| 雑費          | 330,000    | 510,000    | 60,000     | 450,000    | 振込手数料・WEBサービス・会計料 |
| 経常費用合計      | 23,960,000 | 19,075,000 | 14,745,000 | 4,330,000  |                   |
| 当期経常増減額     | △ 67,500   | △ 57,500   | 55,000     | △ 112,500  |                   |
| 経常外収益       | 152,000    | 154,000    | 2,000      | 152,000    | 預金利息、本部旅費補填       |
| 経常外費用       | 0          | 0          | 0          | 0          |                   |
| 法人税等        | 80,000     | 80,000     | 0          | 80,000     | 法人市民税、県民税         |
| 当期一般正味財産増減額 | 4,500      | 16,500     | 57,000     | △ 40,500   |                   |

(別紙)

令和8年度 正味財産増減予算書(案) 受託事業会計  
(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(単位：円)

| 科 目      | R7年度予算     | 予算額        | 備 考                |
|----------|------------|------------|--------------------|
| 活性化協議会事業 | 1,050,000  | 1,300,000  | @450,000×2件＋モニタリング |
| 保証協会診断事業 | 6,000,000  | 6,000,000  | 経営診断、創業支援、その他      |
| 農協財務診断事業 | 1,700,000  | 0          | 農業協同組合財務査定         |
| チーム支援事業  | 7,000,000  | 3,200,000  | あわら市商工会、大野市        |
| 養成塾      | 750,000    | 800,000    | 養成塾受講料             |
| その他      | 3,000,000  | 3,500,000  | 未来協働プラットフォーム       |
| 事業収入計    | 19,520,000 | 14,800,000 |                    |
| 活性化協議会事業 | 1,010,000  | 1,210,000  | 従事診断士への報酬          |
| 保証協会診断事業 | 5,520,000  | 5,580,000  | 従事診断士への報酬          |
| 農協財務診断事業 | 1,570,000  | 0          | 従事診断士への報酬          |
| チーム支援事業  | 6,550,000  | 2,880,000  | 従事診断士への報酬          |
| 養成塾事業    | 740,000    | 780,000    | 従事診断士、会場費、模擬試験代等   |
| その他      | 2,700,000  | 3,150,000  | 従事診断士への報酬          |
| 事例検討会費   | 60,000     | 60,000     | 会場費、講師会員謝金等        |
| 事業費用計    | 18,150,000 | 13,660,000 |                    |
| 当期事業収支   | 1,370,000  | 1,140,000  |                    |